

広報

7105

2006
No. 628

天然絶叫マシーン！

■大揺れボートでエキサイト！

日野川をラフトで下ろう！ in GW（関連記事：6ページ）

特集 まちをみんなで盛り上げよう!①

金持を全国に発信!

縁起の良い名前で全国的に有名な金持神社(金持)をまちの観光の目玉にしようと、町観光協会を中心に、さまざまな取り組みが行われています。



観光客に土産品の説明をするスタッフの池座舞さん(黒坂)。笑顔の接客は基本



指画家、浜田珠鳳さん(写真左)も式典に参加

金持売店をリニューアル、年中無休営業へ

町観光協会(勝瀬節雄会長)は、金持神社を訪れる人などに土産物などを販売している「金持売店」の運営体制を一新、金持神社札所として4月18日に開店しました。

勝瀬会長は式典の中で、「春らんまんの中で新しくオープンすることができてうれしい。店員には、癒しの心をもつて対応してもらい、お客様に2度、3度と足を運んでもらえるようにしたい」とあいさつ、景山町長ら7人でのテープカットで、売店は新しいスタートを切りました。金持売店ができたのは20年前。山陰路観光キャンペーンで町が設置したものを地元住

民に管理を委託していました。が、このたび観光協会が管理をすることになりました。

店内には、現在3人の女性スタッフが観光協会の臨時職員として配置されており、観光客への対応のほか、売店に置く商品の開発も担当しています。そのうちの一人、宮崎佳代さん(根雨)は、「まちのPRの手助けができればと思い、スタッフ募集に応募しました。今は週3日程度出勤して店番をしています。毎日全国から本場に多くの人が来られます。遠くは北海道から来られた人もありましたね。接客の時には、やっぱり笑顔を基本にと心がけています」と、やはり笑顔で話します。

売店のこれからについては、「商品としてもっと地元産のものを置きたいので、いろいろな方面に声をかけています。また、私は町外の出身なので、まちの地理を勉強して、皆さんに道案内ができるようになりたいです」と抱負を語りました。



セルブひの手づくりの絵馬。力強いタッチの絵が特徴



商品を入れる紙袋も手づくり！

今までの売店には地元の土産物が少なかったため、観光協会は売店で販売する地元産の土産物などを募集しています。

現在では金持神社のお札、お守りなどの縁起物をはじめ、農産物加工所「大夢多夢」のスズハラモチや、キハダ染めの「黄色いハンカチ」、オシドリグッズなどが店頭に並び、ほかに、ブローチやきんちゃく袋など、まちの人たちの心のこもった手づくり品も数多く売られるようになってきているのも特徴です。

売店の商品も見直し、地元の産品が中心に

手づくりのカードケースやフクロウのマスコットを出品している松本よし子さん（濁谷）は、「古布などでマスコットを作っています。

開運のため黄色い布を使ったりと工夫しています。一人でも多くの人に福が訪れてほしいですね」と話します。また、観光協会は絵馬の製作を、障害がある人の自立支援施設、セルブひの（根雨）に依頼、馬や招き猫などの絵がていねいに書き込まれ、観光客にも人気の品となっています。

観光ガイドを育成、遠方からの観光客を案内

金持神社は、開運を求めて県外からも多くの観光客が訪れる、まちの重要な観光地のひとつ。観光協会は、昨年末から観光バスツアーを誘致し、東京や九州方面などからの団体客を受け入れていきます。

その際の案内役として、同時に地元住民有志による観光ガイドの育成を開始、現在では5人のガイドが、バスツアーの観光客を出迎えています。

提灯を手にお出迎え

温かい対応が好評

観光ガイドたちは、揃いの黄色い法被と、手に持った「金持神社」と書かれた提灯がトレードマーク。バスが売店に到着すると、「ようこそお越しくださいました」と笑顔で出迎え、さっそく神社へと案内します。

神社へ続く石段の脇には、「とつとりの名木百選」のひとつに選ばれているサワラの木や、中国原産の珍しい



黄色い法被と提灯が目印の観光ガイド

「チャンチンの木」があり、ガイドたちはその由来なども解説します。境内での宮司によるお払いなどの後は、鳥居前で記念写真を撮ったり売店へ案内したりと、観光客への細かい気配りが見られました。バスツアーで佐賀から来たという女性は、「神社には初めて来ました。こじんまりとしています。逆に風情があつていいですね。ガイドの人も温かい対応をしてくれてうれしいです」と話

ていました。4月から観光ガイドになったばかりの松本智津子さん（根雨）は、「研修期間が終わり、これから本格的にガイドを始めますが、金持神社の歴史などひとつずつ勉強していきたい、訪れる皆さんに喜んでいただけるよう頑張りたいです」と意気込みを語りました。

多くのまちの人たちが関わりあい、観光の拠点になりつつある金持周辺。一度訪ねてみませんか。



神社の前で、由来などを解説

特集 まちをみんなで盛り上げよう! ②

サワガニ養殖に成功!

地元の珍味として食べられていたサワガニ。高尾の松本栄さんは、サワガニをまちの名物にしようと養殖に取り組み、昨年夏、ふ化に成功しました。全国でも珍しい養殖の取り組みを紹介します。



水槽にはサワガニのすみかとなる石を配置、毎日世話をする松本さん

甘露煮など、町内でも珍味として取引されているサワガニの養殖を行っている松本栄さんは、製材業のかたわら、自宅でサワガニを飼育、毎日面倒をみるなど、日夜研究を続けています。

サワガニの養殖に興味を持ったことについて、松本さんは、「数年前、米子市に住んでいる小学生の孫が遊びに来たとき、自宅裏の板井原川で30匹ほどのサワガニを採ってきたところ、孫に『次に来る時まで飼っておいて』と言われたことがきっかけです」と話します。

しばらく飼っていると、サワガニの交尾が見られるよう

きっかけは孫との会話

になり、卵をふ化させようと観察を続けていましたが、3週間ほど経ったふ化直前に、サワガニが抱いていた卵がなぜか消えてしまったといいます。松本さんは、「その時、これは飼っている環境が良くないのではないかと考え、なんとかしてサワガニを増やせないものかと、水温や日光の当たり具合など、自分なりに研究しました。県の栽培漁業センターに問い合せてみましたが、全国的にふ化に成功した例がなく、生態自体もよくわかっていないとのことでした」と、苦労した様子を語ります。



元気に育つサワガニたち

自宅を改造、サワガニの飼育場をつくる

本格的に養殖に取り組むことにした松本さんは、自宅の空き部屋を改造、二段の木枠にプラスチックの水槽が並ぶ飼育場を作りました。

「水槽には井戸水を引き、水温を常に一定に保つように管理しています。えさは、刺身のアラやくず芋をミキサーにかけてものを毎日夕方を与えています。このほか、自然環境により近づける方法を見つけたが、それは企業秘密ですね」と笑顔で語った松

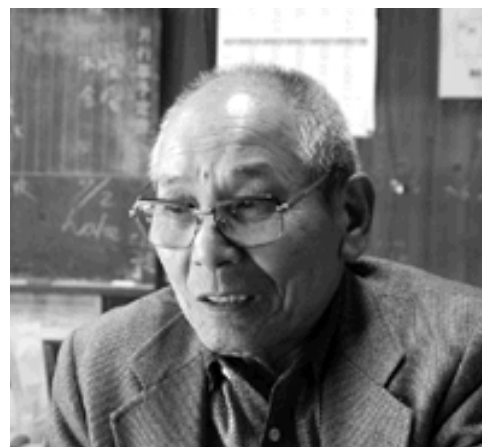
本さんですが、その表情は自信にあふれています。

昨年夏、この飼育場で約600匹の稚ガニのふ化に成功しました。「サワガニは一年に40個位しか卵を産まず、しかも、自然条件にぴったりに合った環境でないとふ化させないということが研究の中でわかってきました。その環境を見つけないために試行錯誤を繰り返して、やっと成功することができました」と松本さん。



サワガニは屋内の飼育場で飼われています

現在ここで飼われているのは、ふ化した600匹の稚ガニを含め約5000匹。松本さんは、「サワガニの出荷を軌道に乗せていくためには、1ト、およそ40万匹が必要になります。このままどうやってサワガニを増やしていくのか、それが課題ですね」と話します。



「これからの人生を養殖に賭けてみたい」と松本さん

飼育しているサワガニの一部は、すでに町内の飲食店に販売され、「天然のものに比べて甲羅が軟らかく、食べやすい」と好評の様子。

今後の目標について、松本さんは「サワガニが出荷できる大きさになるまでには4年くらいかかりますが、もっと小さな子ガニの状態でも出荷して欲しいとの需要もあるようです。サワガニたちは本当にかわいい。元気に大きくなれ」と思いながら毎日育てています。また、今年中には自宅とは別の場所に新たに飼育場を作る予定にしています。万単

位での養殖が可能になれば、企業化して本格的に養殖に取り組み、まちの名物品として販売していきたい」と意気込みを語ってくれました。

この取り組みに協力している㈱まちづくり日野の窪田憲三社長は、「役員有志で、親ガニになるサワガニを町内の沢で採ってきたり、県・町への補助金申請をしたりと人的なサポートをしています。サワガニは、京都などの高級料亭や旅館では高級食材として取引されています。養殖が軌道に乗って、出荷できる数まで増やすことができるようになれば販売を担当したい。また、地産地消も視野に入れ、甘露煮などの加工品の製造・販売もやってみたいですね」と意欲を語ります。

全国でも珍しいサワガニ養殖の取り組み。新しいまちの特産品化が期待されます。

甲羅が軟らかいと評判、本格販売へ意欲

サワガニとは

■サワガニ【沢蟹】サワガニ科サワガニ属。

一生を淡水域で過ごす純淡水性のカニ。

日本の固有種で、黒褐色の甲羅の幅が約2～3㌢、朱色の脚を含めた幅は約5～7㌢。

清流に住み、夜行性なので日中は石の下などに隠れているが、夜になると活動を始める。雑食性で、藻類や水生昆虫などを食べる。

唐揚げや佃煮にしたものは、酒の肴や料理の彩りとして用いられる。



さあ、冒険に出かけよう。

日野川をラフトで下ろう！ in GW

豪快に川下り

日野川の魅力を探る

陽春の日野川上流を、ラフトと呼ばれるゴムボートで豪快に下り、新たな自然の魅力を見つけようと、「日野川をラフトで下ろう！ in ゴールデン・ウィーク（町、リバーサイドの主催、県自然体験ファーム実行委員会共催）」が5月3日から5日までの3日間、町内の日野川で開かれました。



まずラフトに空気を入れる

このイベントが開かれるのは、昨年度に続いて3回目、5月の大型連休中に開くのは初めての試み。ラフトの指導は、鳥取大学探検部OBや、米子、鳥取カヌークラブのメンバーの協力で行われました。

大型連休真っ最中

県内外から多くの人が参加

5月3日は連休初日とあって、家族連れなど約20人が参加しました。

参加者は、パドルの持ち方や、川に落ちたときの対処法などの指導を受けた後、6人位のグループに分かれてラフトに乗り込み、黒坂カワコふれあい公園から、安原カヌーの里までの日野川を、約2時間をかけて下りました。



呼吸を合わせてパドル操作

約3キロのコースは、浅瀬や急流、緩やかな淵など、変化に富んだ内容。途中には、奇岩が並ぶ寝覚峡やキシツツジなど、美しい自然も堪能でき、参加者は、激しい揺れに歓声を上げながら、奥日野の風景

も楽しんでいました。

川下り終了後、松江市から家族連れで参加したという女性は、「ウグイスなどの野鳥の声を聞きながら楽しく冒険ができました。初めてラフトに挑戦したので、こぎ初めは岩に引っかかりました。後半は皆の息がぴったり合ってうまく進むことができました。日野川は自然がきれいです」と感想を話していました。

平成 18 年度自治会長会議

5月9日、自治会長会議が町役場で開かれ、町内51の自治会長が出席、まちからは町長、助役、教育長をはじめ各課長が出席し、今年度のまちの事業などについて説明しました。各課からの主な説明事項は次のとおりです。

自立政策推進本部から

- 自立政策の取り組みについて
本町の財政状況は大変きびしい状況で、平成18年度当初予算においても財源不足が生じ、今後しばらくは赤字が続く見通しです。限られた財源で最大限の効果をあげるため、経費は極限まで削減し、住民サービスの維持を念頭に置きながら創意工夫して取り組んでいきます。

総務企画課から

- 防災行政無線設備の更新について
昨年度から親局・中継局などの設備を更新し、4月から戸別受信機を順次更新しています。また、電波の弱い地区の集会所へは、屋外アンテナを設置しました。

● 国民保護計画について

平成15年6月に国民保護法が成立し、本町でも今年度中に計画を策定することになっています。国民保護は戦争を肯定するものではなく、万一の有事の際に住民の生命、財産を守るうとするものです。

- 消防水利の管理等について
自治会内の消防水利の管理について、特に、消防用道路に大雪による倒木等があれば処理をお願いします。

- 消防団員の加入促進について
消防法が改正され、住宅用火災報知機の設置が義務付けられます。新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅は平成23年6月1日までに

- 全町一斉防災訓練について
10月8日(日)午前9時から行います。内容は、避難訓練・本部への情報伝達訓練や施設器具点検などです。

- 町営バス運行時間の変更について
JR伯備線のダイヤ改正と中学生部活動の夏時間への切り替えに伴い、5月1日から町営バスの発車時間を一部変更しました。4月20日全戸配布の時刻表または停留所の表示で確認してください。

健康福祉課から

- 介護保険法の改正について
介護の予防に重点を置き、要介護区分を「要支援」と「要介護1」の一部を「要支援1」「要支援2」に区分して介護状態の改善に向けた介護予防を行います。新しく介護予防や総合的な相談支援を行う拠点として、健康福祉課内に地域包括支援センターを設置しました。また、保険料は低所得の人に配慮し、6段階に設定しました。

- 健康診断実施方法の変更について
今年から、基本健診とがん健診を同時に受けられるようにしました。7月～9月に開発センターと町公民館で行います。健診日程などは「広報ひの」に掲載しますが、日野病院でがん健診を希望される方は病院に直接申し込んでください。

- 健診受診票は7月初旬に対象者全員に送付します。がん健診自己負担金は、町民税課税世帯、非課税世帯の2段階で負担していただきます。

- 産業振興課から
除雪について
除雪作業は、昨年度と同じく業者委託とし、積雪量がおおむね20センチを超えたときにを行います。

各自治会に設置してある消火栓及び排雪できない場所、排雪されると都合の悪い場所については、所有者及び自治会で目印を設置してください。ポール等が必要な場合は貸し出しますのでご連絡ください。

除雪作業に支障となる木・竹などは、所有者に断りなく伐採する場合があります。あらかじめ所有者・自治会などで伐採してください。

- 町道の維持管理について
町道のうち、バス路線などの幹線道路、観光道路は町で草刈りを行います。その他の町道については、地域の環境整備、交通安全のうえから、各自治会で奉仕作業として行っていたかどうかをお願いします。

- 公共下水道・農業集落排水の加入促進について
公共下水道・農業集落排水は、整備が完了しました。該当地区で、まだ接続されていない世帯の普及に努めていきます。また、該当地区以外の世帯については、合併処理浄化槽設置事業の活用をお願いします。

教育委員会から

- 町民体育祭について
今年度は9月24日(日)に開きます。根雨地区大会は根雨小学校グラウンド、黒坂地区大会は黒坂小学校グラウンドです。プログラムなどは今後決定します。

- 「Do・スポーツ」について
「Do・スポーツ」は、住民が主体となって運営する総合型地域スポーツクラブです。生きがいづくりや健康増進などのため、スポーツを主体とした取り組みを行っていますので、多くの人の参加をお願いします。

- 地域防犯・生活安全パトロール協議会会員募集について
子どもたちを狙った悪質な犯罪が多発している中、今年1月に協議会を結成し、週2日、学校の下校時に防犯パトロールを行っています。

現在の会員数は18人と少なく、町内全域まで防犯の目が届きません。防犯ジャケットをつけて、子どもと下校時にウォーキングするだけでも十分な防犯効果があります。協力いただける方は、協議会事務局(町公民館 電話74・0212)までご連絡ください。

春の叙勲

おめでと〜いございます

長年の消防活動を評価

冥賀宏忠さんに瑞宝単光章

さまざまな分野で活躍し、社会貢献した人々を表彰する「春の叙勲」が、4月29日、内閣府から発表され、日野町からは冥賀宏忠さん（根雨）が瑞宝単光章を受章されました。この叙勲は、冥賀さんの長年にわたる消防活動への功績が高く評価されたものです。

冥賀さんは、昭和37年に町消防団へ入団後、第1分団長、副団長を務め、昭和63年から平成8年までの間、団長として活躍、数々の消火活動や災害予防に尽力されました。また、住民の安全な暮らしを守ってきた姿は、他の消防団員の模範となっています。



現在は町の消防委員を務めている冥賀さん

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。

☆役場総務企画課まで（電話 72・0331）

高齢者の交通安全を学ぶ

安井栄寿会総会



「車に乗ったときは、後部座席でもなるべくシートベルトを」と語る高橋さん

津地・安原地区の老人クラブ、「安井栄寿会（山田芳美会長）」の第41定期総会が、4月15日、津地自治会館で開かれ、20人の会員が出席しました。

総会に先立ち、黒坂警察署の高橋交通係長が、高齢者の交通安全について講演し、「県内の交通事故の犠牲者の半分以上が高齢者です。自動車から姿がよく見えるよう、行動は明るいうちに行い、また夜間外出するときは反射材を身につけるようにしましょう」などと呼びかけました。

総会の中で山田会長は、「今年度は会員を増やす活動や、町の筋力アップ教室の開催など様々な事業も行っていきたい」と語りました。

総会の後には懇親会が行われ、食事をしながら会員同士の親睦を深めました。

澄んだ音色が響き渡る

大正琴「暁の会」演奏会



舞台上に勢ぞろい、練習の成果を披露

県西部で活動している大正琴グループ「琴名流大正琴の会（植木正枝会長）」の演奏会が、4月16日、町文化センターで開かれました。

二年に一度開かれるこの演奏会には、町内はもちろん、日野郡、西伯郡の各教室から約50人が出演、クラシックやポピュラー、演歌など約30曲を演奏しました。

また、「ふるさと」「早春賦」などの四季の叙情歌を演奏し、背景に四季の景色の写真とその歌詞を映し出して客席と一緒に歌うという、初めての試みもあり、訪れた聴衆は、大正琴が生み出す清涼感あふれる音色に聞き入っていました。

訓練の成果を発揮

町消防ポンプ操法審査会



住民の生命・財産を守る基本

消防団員の技術の向上を図るため、町消防ポンプ操法審査会が、4月23日、ひのっこ保育所駐車場で開かれました。

審査会は、4人1組の団員が消防ポンプ車を使い、あらかじめ設定してある火点（標的）に向けて放水し、それを終了するまでの一連の動作の正確さ、機敏さや所要時間などを競うもので、各分団から1組ずつの選手が出場しました。

選手たちは、日頃から訓練を重ねてきた成果を発揮、きびきびとした動きで、正確な操法を披露しました。

江府消防署員による審査の結果、第1分団が1位となり、7月2日、米子市で開かれる県西部消防ポンプ操法大会への出場が決まりました。

誰もが輝いて生きていくために

男女共同参画講演会

男女が共にいきいきと暮らせる社会づくりを目指して、郡男女共同参画連絡会（佐々木周子会長）主催の講演会が、4月16日、開発センターで開かれました。

今回は、県人権文化センター客員研究員の金香百合（かゆり）さんを講師に迎え、「ひとが輝く・まちが輝く」男らしさ・女らしさの病からの解放」をテーマに講演が行われました。

講演の中で金さんは、在日3世として生まれた生い立ちや、ジェンダー（社会的性別）の解説などを通して、男らしさ・女らしさにとらわれず、自分らしく輝いて生きていくことの大切さを語り、集まった参加者は、金さんの熱い思いにうなずきながら聞き入っていました。



表情豊かに思いを語る金さん



左から、日光菩薩像、薬師如来像、月光菩薩像



ゴムが伸びる力で腕・肩の筋肉を刺激

要介護状態を防ごう

筋力アップ教室

介護を必要としない丈夫な体をつくろうと、ぽかぽか筋力アップ教室（町包括支援センター主催）が始まりました。4月24日、根雨社会体育館で開かれた教室には、根雨2区老人クラブ悠々会の会員が参加、体力測定をした後、町体育指導委員、高橋伸也さんの指導でゴムチューブを使う体操など、筋力を高める運動を楽しんで行いました。

この教室は、今後、希望する自治会や老人クラブなどの団体を対象に、年間を通じて開かれます。

無病息災を願って

紅葉温泉に薬師如来像

健康に良いといわれる温泉水が湧き出る、紅葉温泉・奥日野薬師秘湯（福長）に、薬師如来像など3体の石造が建立されました。

これは、ここを訪れる人の無病息災・平和と安定を願い、敷地内にある一畑薬師にちなんで建立されたものです。



花々に囲まれて食べる弁当は格別！



淡いピンクの花をつけるダイセンミツバツツジ

3万本のツツジ満開

滝山公園つつじまつり

県内でも有数のツツジと桜の名所として有名な滝山公園（中菅）恒例のつつじまつりが、4月16日から5月5日まで開かれました。

公園内には、約3万本のダイセンミツバツツジと約100本の八重桜が咲きそろい、公園周辺の山肌をピンク色に染め上げました。

祭り期間中には、公園内の売店が開店、また露天も軒を連ね、町内外から訪れた多くの花見客でにぎわいました。

ツツジが満開となった4月29日、ゴールデンウィーク初日に岡山県から訪れたという女性は、「山がとても好きで、夫と30年ぶりに滝山公園を訪れました。道が整備されていて昔とずいぶん様子が違います。ツツジはちょうど見ごろでとてもきれい。龍王滝には初めて上がりましたが、とても迫力がありました。また来てみようと思います」と話していました。



ブナやスギ、クヌギの林が連続、森林浴も満喫



山の神に祝詞を捧げる

さわやかに初登山

宝仏山登山道開き

日野町の最高峰、宝仏山（標高1005m）恒例の登山道開きが、4月29日に開かれました。

神職による安全祈願の後、主催者のごうきんすぎのこ会、冥賀宏忠会長が、「昨年末からの大雪で登山道は荒れていましたが、倒木なども撤去し整備しました。険しい道ですが、頂上からの眺めは格別です。それを楽しみに登ってください」とあいさつ、県内外から集まった登山客たちは、さわやかな山の空気を感じながら頂上を目指していました。



かわいい稚アユに園児たちは大喜び



迫力あるプレーが繰り広げられる

根雨スポ少は準優勝

少年野球日野町大会

第29回日野郡少年野球日野町大会（郡少年野球連盟など主催）が、4月30日、日野中学校と根雨小学校を会場に開かれ、郡内6つの少年野球チームがトーナメント戦を行いました。

日野町からは根雨スポーツ少年団が出場し、チロルジュニア江府との初戦では満塁ホームランなどで圧勝しましたが、日野上スポーツ少年団との決勝戦で惜しくも敗れ、準優勝となりました。

元気に大きくなあれ

保育所アユ放流

5月2日と9日、町内2保育所の園児たちが、日野川に稚アユを放流しました。

これは、自然とふれあい、命の大切さを学んでもらおうと、町水産振興連合会（頭本尚憲会長）主催で行われました。園児たちは、2日は黒坂力ワコふれあい公園で、9日は野田河川敷から、数万匹の元気な稚アユを放流しました。

おしらせ

Information

日野高校生権講演会

日時 5月23日(火) 午後1時30分～午後3時
場所 日野高校体育館
対象者 日野高校生徒、保護者、教職員のほか、一般の人も参加できます。
内容 講演「日野高校のみなさんへ」
講師 藤井輝明氏(鳥取大学医学部教授)
問合せ 町教育委員会(電話 72 2107)

職場の労働関係相談会

県労働委員会では、個別的な労働関係のトラブルに対し、適切な情報の提供や助言などによる解決のきっかけづくりのため、職場における労働関係相談会を開きます。
日時 5月28日(日) 午前10時～午後3時
場所 米子市文化ホール 2

階和室

相談内容 解雇・配転・賃金・時間外労働など、個別的な労働関係の相談全般
対象者 特に限定なし(使用者からの相談也可)
相談対応者 県労働委員会委員、中小企業労働相談所労働相談員
相談料等 無料、相談者の秘密厳守
申込みは不要です。相談者は直接来場ください。(あらかじめ電話で予約可)
問合せ 県労働委員会事務局 審査調整課(電話 0857 267560)、相談会当日は携帯電話(090 777782109)まで連絡ください。
ひきこもり状態にある方の「家族のつどい」
「ひきこもり」は、さまざまな要因によって社会的な参加の場面が狭まり、就労・就学

などの自宅以外での生活の場が長期にわたって失われている状態をいいます。
ひきこもる本人の気持ちや関わり方について勉強したり、その家族の思いや経験を話し合い、交流してみませんか。

開催日 5月31日(水) ほか、原則毎月最終水曜日(詳しい日程はお問合せください)
時間 午後1時30分～午後3時30分
会場 山村開発センター1階 老人研修室
内容 ひきこもりの心理や回復の過程、対応についての学習、情報提供、参加者どうしの話し合いなど。
対象 自宅にひきこもり状態にある人の家族
その他 参加申込みは、随時電話で受け付けています。参加費は無料です。
申込み・問合せ 日野総合事務所福祉保健局(日野保健所)担当 谷野(電話 72 2036)

■ 集落で河川の草刈りをしませんか？

『地域が育む河川環境保全事業』参加集落募集！

県では、昨年も多くのみなさんに参加いただいた、「地域が育む河川環境保全事業」を、今年も実施します。つきましては、県が管理する河川の草刈りを行っていただく集落を募集しますので、希望する集落はお申込みください。

①募集対象箇所(日野町内)

番号	河川名	対象箇所	面積(㎡)
1	板井原川	根雨	10,000
2	日野川	本郷	20,000
3	日野川	舟場	15,000
4	日野川	上菅	18,000
5	日野川	中上菅	10,000
6	日野川	下菅	5,500

②交付金額 作業面積に応じ、20万円(5,000㎡)から40万円(10,000㎡)を交付します

③作業面積 作業面積は、5,000㎡以上です

④募集期間 6月30日(金)まで

⑤応募方法 作業箇所および面積を選んでいただき、地区の代表者(自治会長など)が申し込んでください

⑥その他 募集対象地区以外の草刈りを希望される場合は、別途現地確認を行い検討します

申込み・問合せ 日野総合事務所県土整備局
維持管理課 担当：金子
(電話 72 - 2046)

湖畔の風になれ



参加者募集!

と き 7 月 30 日 (日)

ところ 鵜の池湖畔 (雨天決行)

受 付 午前 8 時 30 分 ~

午前 9 時 20 分

開会式 午前 9 時 20 分 ~

スタート 午前 10 時 00 分

第29回 中国山地日野 鵜の池マラソン大会

第19回全国スポーツレクリエーション祭
スポレク鳥取2006 協賛事業

■ 内容 各クラス (右表) に分かれてタイムを競い、上位入賞者を表彰します。

ただし、Sクラスは表彰、順位はありません。

■ 申込方法 申し込み用紙に参加料を添えて教育委員会または町公民館にお申込みください。申込み用紙、大会要項は教育委員会、町公民館、図書館にあります。

■ 申込期限 6月30日 (金) 当日消印有効

■ 参加料 一般 2,000 円
高校生以下 1,000 円
Sクラス 500 円
当日は、Sクラスのみ無料で参加できますが、参加賞はありません。

■ 問合せ 鵜の池マラソン大会実行委員会
(町教育委員会内)

電話 72 - 2107

クラス一覧表

クラス	区 分	距 離	クラス	区 分	距 離
A	小学生女子 (4 年生以上)	2.3 ^{キロ}	H	小学生男子 (4 年生以上)	2.3 ^{キロ}
B	中学生女子	2.3 ^{キロ}	I	中学生男子	4.6 ^{キロ}
C	高校生女子	4.6 ^{キロ}	J	高校生男子	6.9 ^{キロ}
D	40 歳代女子	2.3 ^{キロ}	K	20 歳代男子	6.9 ^{キロ}
E	50 歳代女子	2.3 ^{キロ}	L	30 歳代男子	6.9 ^{キロ}
F	60 歳以上女子	2.3 ^{キロ}	M	40 歳代男子	6.9 ^{キロ}
G	年齢制限なし	4.6 ^{キロ}	N	50 歳代男子	6.9 ^{キロ}
			O	60 歳代男子	4.6 ^{キロ}
			P	70 歳以上男子	4.6 ^{キロ}
S	男女フリー	2.3 ^{キロ}	だれでも参加できます (順位なし)		

日野町公民館だより

編集 日野町公民館

〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1

電話：74-0212 FAX：74-0105

E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp



今年もそろって生涯学習を

おしどり学園開講式

4月28日、平成18年度おしどり学園開講式を、70人の学園生を迎え、町公民館で行いました。式では、景山享弘町長、佐々木秀明会議議長、福田和也教育委員長らも出席、学園生に激励をしていただきました。

開講式に先立つオリエンテーションのなかで、運営委員の選出や年間計画などについて協議をしました。

おしどり学園は、4月から翌年3月までの間10回開講、

午前9時から午後1時頃まで、

一般教養講座と、学園生の選択によるグループ専門講座で創作活動、スポーツなどの活動を行います。

一般教養講座では、各方面からの講師を迎え、社会問題から身近な問題まで幅広く学習します。

グループ専門講座は、生花、料理、グラウンドゴルフ、絵手紙、園芸、手芸、語る会、パソコン、の計8講座があります。また、おしどり学園には、おおむね65歳以上の入園者も入園できます。心身ともに健

康で、生きがいをもって生活しましょう。

おしどり学園の内容

●時間 午前9時～

●場所 町公民館

●時間割 一般教養講座（1時間）
グループ専門講座（2時間）

●開講日、一般教養講座の内容
5月19日（金）介護保険などについて

6月16日（金）悪徳商法について

7月21日（金）人権教育について

8月25日（金）裁判員制度について

9月15日（金）火災予防について

10月24日（火）社会見学（倉吉方面）

11月24日（金）薬と健康について

12月15日（金）気象について

3月23日（金）閉講式

一般教養講座は、学園生以外の人でも参加できます。参加申込み、お問合せは町公民館（電話74-0212）まで。

公民館

パソコン教室

パソコンを始めた人のためのパソコン教室

情報化社会を迎え、インターネットを中心にパソコンから得る情報は、日常生活に大きな影響を及ぼしています。また、近頃多発しているパソコン詐欺や犯罪に巻き込まれないためにも、この教室でパソコンに慣れ親しんでみませんか。

日時 6月7日（水）、14日（水）、21日（水）、28日（水）の、午後7時～午後9時まで
開催場所 町公民館
受講申し込み 町公民館（電話74-0212）まで、電話で申込みください（先着順）。
受講料 1人500円
募集定員 10人（申込者が10人になった時点で募集を締め切ります）

日野町地域防犯・生活安全パトロール協議会

地域の安全は自ら守ろう！ 18人の会員が自発的に参加

協議会結成の経緯

最近、子どもたちが誘拐、殺害されるといふ、凶悪で痛ましい事件が全国各地で多発しています。

このような事件を未然に防ぐと、地域防犯・生活安全パトロール協議会（山本武史会長）が、今年1月に結成されました。会員は、町内の18人の大人たちです。

協議会の防犯活動

子どもたちが安全に通学できるよう、毎週2日間、学校の下校時に防犯パトロールを行っています。子どもたちの安全確保はもちろん、お年寄りが安心して暮らせるよう、

不審者や不審車両に警戒しながら地域の見回りを行っています。

会員になってください

現在18名だけの会員では、町内全域まで防犯の目が行き届きません。全国の例を見ても、子どもたちが一人になったときに犯罪に巻き込まれる事件ばかりが起きています。

防犯ジャケットを着て、下校時など、一緒にウォーキングをしていただけでも防犯効果は十分あります。会員になっていただける人、防犯パトロールにご協力いただける人は、協議会事務局（町公民館 電話74-0212）までご連絡ください。

防犯パトロール車を寄贈

川上博史さん（本郷）、金田雅夫さん（野田）から、防犯パトロールに役立ててほしいと軽自動車1台を寄贈いただきました。ありがとうございます。



子ども居場所づくり事業

まちでは、今年度も国の委嘱事業で、「地域子ども教室」を開きます。町公民館では、次のような教室を開く予定です。特に、子どもたちがすすんで参加できる、自然体験教室や料理教室などを多く開くことにしています。

これからの地域子ども教室予定

- 5月20日（土）子ども料理教室（開発センター）
- 5月27日（土）子ども陶芸教室「色付け」（町公民館）
- 6月3日（土）子ども料理教室（町公民館）
- 6月17日（土）子ども陶芸教室「鑑賞」（町公民館）

詳しい内容等は学校等を通じて、別途お知らせします。問合せは町公民館（電話74-0212）まで

公民館では「おでかけ隊」を実施しています

地域の子どもたちを守る

子どもたちの安全・安心を、地域の方と一緒に守るため、町公民館も「おでかけ隊」として、地域の皆さんと学校に向き、下校時にバスを待っている児童を対象に1時間、地域の大人の話を聞いたり、スポーツをしたりしながら見守っています。（5月から実施中）

犯罪のない、安全な地域づくりのためには、地域の皆さんのご理解、ご支援が必要です。協力していただける人はご連絡ください。

日時 毎週水曜日 午後3時～4時まで
場所 根雨小学校、黒坂小学校で交互に行います
連絡先 町公民館（電話74-0212）

隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
電話：72-1191 (FAX兼)
E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



個性あふれる作品たち

学習講座も花盛り

今年度も隣保館交流事業として、学習講座が次々と開かれています。

中でも最年長となる生け花講座は、季節の移り変わりを一番に伝えてくれます。

毎月第3火曜日の午後7時30分から下榎集会所で開いています。

講師は、草月流の生田清子さんです。

地区外からの受講生も多く、毎回和気あいあいの中で、花を咲かせています。仕事と家事の合間をぬっての情報交換の場ともなっているようです。

榎の実学習会

5月に入ると榎の実学習会が始まります。榎の実学習会とは？昭和50年に「将来を担う子どもにこそ、解放の力を

つけないといけない」という考えで、同地区小学生および中学生を対象にして、小中学校職員、隣保館職員、公民館（教育委員会）の協力のもとに学習会が始まりました。

この学習会は、あくまでも公教育の延長ではなく、長い間の差別によって作ら

■部落解放人権尊重標語募集！

7月10日～8月9日の部落解放月間を前に、今年も「部落解放人権尊重標語」を募集します。

●応募要領
募集作品 部落解放、人権尊重を目的とした標語

提出期限 6月5日（月）
提出先 下榎隣保館

その他 入選作品については選考委員会で決定し、後日町内に広報などを行う予定です。

提出された作品については、その所有は日野町とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

詳しくは、隣保館までお問合せください。

れたひずみを取り除くことにあり、全人的な教育をめざしたものです。主な学習内容 教科学習 学力保障、進路保障の観点から、教科の補充学習に取り組んでいます。

解放学習 同地区の歴史や生活、部落差別の実態、同地区学習会の意義、学校での学習問題の学習などを通して、自らの社会的立場の自覚を深め、自分の生き方について語っていく解放への学力的

充実をめざしています。

小学校は日南町と交流会を開き、中学校は郡内の中学校との交流学習会を毎年、夏休みにそれぞれ開いています。

この交流会を通してお互いの親睦を深めるとともに、他の地区の歴史や実態、また、他の学校の取り組みなどに学び、自らの学習や生き方を見つめ直す場をめざしています。

以上が榎の実学習会の概要です。毎年、解放文化祭で、この学習会の作品を展示・発表していますので、参加いただき学習の成果をご覧ください。

6月の学習講座予定

- 木工講座：6月6日（火）、13日（火）午前9時～（下榎集会所）
- 編み物講座：6月10日（土）午後7時～（老人憩の家）
- 生活の知恵講座：6月17日（土）午後7時～（下榎集会所）
- 生け花講座：6月20日（火）午後7時30分～（下榎集会所）

●図書館おはなし会

6月17日(土) 10:00 ~

絵本やおはなしを楽しみたい人は誰でも参加できます。(参加費無料)

■ 6月のおはなし: 雨を楽しむ本・かえるのお話など

●木のおもちゃづくり

6月16日(金)

■ 黒坂小学校5・6年生出前教室
講師に小黒三郎さんを迎えて、組み木のデザインから製作までを学びます。さてどんな作品が出来あがるかお楽しみに!

図書館の展示コーナー

小黒三郎 木のおもちゃ展

6月1日(木) ~ 16日(金)

黒坂小学校5・6年生

組み木作品展

6月17日(土) ~ 29日(木)

日野町文化展

6月18日(日) ~ 20日(火)

時間: 10:00 ~ 19:00 (18・19日)

10:00 ~ 15:00 (20日)

会場: 開発センター 大集会室

主催: 町文化団体連絡協議会

■ 水墨画、写真、絵画、陶芸、書道、生け花などの力作をご鑑賞ください。

■ 18日(日)は、国際交流協会によるお茶のサービスもあります。

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinotosyo@book.town.hino.tottori.jp

月~金 午前9時30分~午後6時

土・日 午前9時~午後5時

カレンダー

○印が休館日です

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

●6月のホールイベント

第10回 日野川音楽祭

とき 6月25日(日) 13:00 ~ (開場 12:30)

会場 町文化センター / ホール森の音楽隊

チケット 500円 (文化センターで取り扱っています)

主催 日野川音楽祭実行委員会

後援 日野町、日野町教育委員会、新日本海新聞社、ホールと共に歩む会

出演 ハワイ笑歌村塾(フォーク)、ロス・レガリートス(オールディーズ)、久代安敏&ひのりパーサイド(フォーク)、シローズ(ロック)、きじま たい(弾き語り)、暁の会(大正琴)、森の子合唱団(児童合唱)、コーラスグループ・アザレア(女声合唱)、ウィード(ゴスペル)、桐糸音(琴)、合唱団おしどりたち&コール白鳥(混声合唱)



写真は前回公演



今年の秋にも日本でのツアー公演を予定

ハスキーボイスで魅了
ウン・サンライヴコンサート
韓国の有名ポピュラー歌手、ウン・サンさんのライヴコンサートが、4月19日、町文化センターで開かれました。
ウン・サンさんは、韓国釜山出身。1995年にスカウトされてジャズを歌い始め、その後は、ドラマ主題歌やジャズ番組の司会など韓国での活躍はもちろん、アジア各国で演奏活動をしてきました。
コンサートでは、スタンダードジャズやオリジナル曲など15曲を、透明感のある独特のハスキーボイスで披露。聴衆は、音量たっぷりの洒落た歌の数々に聞き入っていました。



ひのっこ保育所 子育て支援室 だより

ひのっこ保育所 子育て支援室では、保育所に入所していない子どもたちを迎えて、毎週水曜日、午前9時から2時間、親子で楽しく遊んでいます。

田植えが終わった田んぼから、カエルの声がにぎやかに聞こえてくるようになりましたね。これからは雨の季節です。室内遊びが中心になると思いますが、ままごと遊びや折り紙をして遊びましょう。

お友達を誘って、皆さんで来て下さいね。

6月7日は、簡単な折り紙をします。(午前9時30分から午前10時まで)

また、6月21日は、図書館からのおはなし会です。
(午前9時40分から午前10時まで)

連絡先 ひのっこ保育所 担当 音田
(電話 72 - 0238)

6月の予定カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

○印が実施日です
7日は折り紙の日、
21日はおはなし会の日です。

鳥取NOW 第67号

6月1日発売!



巻頭特集「遥かなる垂直分布の世界へ」:時代とともに変わりゆく「峠の変遷」を追います。

また、特集では、「あろちだに標高水タルの会」を紹介します。
■ 1冊 300円 ■ 最寄りの書店または役場総務企画課で購入できます。

こころの散歩道

日野町俳句同好会 選

文机に椿落つたび蜜こぼす(講師)谷 悦子
雨しとど花の名所を通り過ぎ 安達つるゑ
外つ国の匂ひ運べる黄砂かな 荒木 習子
源流は七里の奥や春の川 勝瀬 京子
発ちし子のやはり気になる花の雨 金川 昭子
老桜花満つ気魄ありにけり 川上 文子
うらゝかや園児の列の途切れ勝ち 久城 霞溪
らんまんの花を透さくる雅楽かな 徳本千鶴子
廃坑の磐に滴たる春の水 真壁富貴枝
(五十音順)

編集後記

■ 滝山公園つつじまつりでは、本当に多くの人出で、とてもにぎやかでした。取材を忘れてつつじに見とれちゃいました。が!一番楽しみなのは屋台のイカ焼きだったりして....(i)

氏名	年齢	住所
杉本 繁美	81歳	根本雨
生田 和幸	82歳	本郷
山下 健寿	79歳	久住
中原 求	61歳	下榎
中尾 閣枝	94歳	濁谷
若林 誉晴	79歳	金持
柴田 隈夫	81歳	金持
原田 幸信	70歳	根本雨

おくやみ

ご冥福をお祈りします

氏名	年齢	住所
川上 歩花	吉嗣・陽子	女の子 本郷
安達 敬祐	隆夫・慶子	男の子 下榎

赤ちゃん誕生

おめでとございます

届出 4月13日~5月10日 敬称略

4月30日現在

わ	たしの町	(前月比)
人口	4,229人	(+16)
男性	1,977人	(+5)
女性	2,252人	(+11)
世帯	1,563戸	(+15)

6月 ぐらしのカレンダー

JUNE (水無月)



1 木	人権相談 開発センター 午後1時～午後3時	15 木	発泡スチロール・蛍光管の収集日(5班)
2 金		16 金	発泡スチロール・蛍光管の収集日(6班)
3 土		17 土	隣保館生活の知恵講座 下榎集会所 午後7時～午後10時
4 日		18 日	
5 月	心配ごと・子育て・高齢者生活相談 開発センター、老人福祉センター 午後1時～午後3時 健康相談 町公民館 午前9時～午前10時 不燃・資源ごみの収集日(黒坂・菅福地区)	19 月	古紙の収集日(黒坂・菅福地区)
6 火	乳幼児相談 開発センター 受付: 午後1時15分～午後1時30分 隣保館木工講座 下榎集会所 午前9時～正午 第34回さつきまつり 開発センター 午前10時～(8日まで)	20 火	可燃粗大ごみの収集日(黒坂・菅福地区) 隣保館生け花講座 下榎集会所 午後7時30分～午後9時30分
7 水	発泡スチロール・蛍光管の収集日(1班)	21 水	発泡スチロール・蛍光管の収集日(7班)
8 木	年金相談 開発センター 午前10時～正午、午後1時～午後3時 不要犬・猫引取り日 日野保健所 発泡スチロール・蛍光管の収集日(2班)	22 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所 発泡スチロール・蛍光管の収集日(8班)
9 金	発泡スチロール・蛍光管の収集日(3班)	23 金	発泡スチロール・蛍光管の収集日(9班)
10 土	隣保館編み物講座 老人憩の家 午後7時～午後10時	24 土	
11 日		25 日	第10回日野川音楽祭 文化センター 午後1時～
12 月	不燃・資源ごみの収集日(根雨・日野地区)	26 月	古紙の収集日(根雨・日野地区)
13 火	隣保館木工講座 下榎集会所 午前9時～正午	27 火	ポリオ予防接種 開発センター 受付: 午後1時15分～午後1時30分 可燃粗大ごみの収集日(根雨・日野地区)
14 水	行政相談 町公民館 午前9時～正午 発泡スチロール・蛍光管の収集日(4班)	28 水	
		29 木	
		30 金	町県民税1期分納期限

直	総務企画課	72 - 0331	住民課	72 - 0333	出納室	72 - 2105	健康福祉課	72 - 0334
通	産業振興課	72 - 2101	黒坂支所	74 - 0211	公民館	74 - 0212	議会事務局	72 - 0335
電	農業委員会	72 - 2103	教育委員会	72 - 2107	文化センター	72 - 1300	給食センター	72 - 1167
話	健康福祉センター	72 - 0334	介護支援センター	72 - 1852	ひのっこ保育所	72 - 0238	黒坂保育所	74 - 0225
	下榎集会所	72 - 1191	役場代表番号(夜間・休日)	72 - 0331				

町長の定期便

第2回

声かけあつて交流を深めましょう

桜の花や滝山のツツジが散ると、急に気温も上がり初夏の訪れを感じるこの頃です。皆様にはお変わりありませんでしょうか。

さて、4月18日には金持売店がリニューアルオープンしました。この4月から町観光協会に新しく運営をお願いし、これからは年中無休、店内には町内で作られた商品を販売して、また休憩もできるようにしました。連日金持神社の参拝客や通りすがりの人たちにぎわっています。先日私も寄ってみましたら、東京から日帰りで参拝された方や、金運が舞い込んだお礼参りの方、バスツアーで寄られた人たちであふれていました。私も、我が町の財政が好転するようお祈りしました。

4月29日には、宝仏山登山道開きが行われ、参加者が頂上目指して登山されました。この連休中には、滝山公園にも美しく咲いたツツジや八重桜見物で連日にぎわっていました。

また日野川では、5月3日～5日に、浜副日野病院長の肝入りで、黒坂カワコふれあい公園から、安原カヌーの里までをラフト（ゴムボート）で川下りを楽しんでいただき、多くの皆さんに、日野川は素晴らしい川だと褒めていただきました。

こうしてみますと、我が日野町にも観光、交流の資源がたくさんあることを実感した1か月でありました。

私はこれらの人たちに、声かけとあいさつが一声でいいからできれば、さらに交流が深まるのではないかと思います。

皆さんと一緒に、明るく楽しい、元気のあふれる日野町にしようではありませんか。

日野町長 景山 享弘

町食生活改善推進協議会さん オススメ料理②⑧



ニジマスの酢豚風

豚肉の代わりにニジマスを使うと、
酢豚もぐっとヘルシーに。
アジやサバを使ってもおいしくできます。



【材料】4人分

ニジマス（4尾。アジ、サバでも可）、酒（大さじ1）、しょうゆ（大さじ1.5）、片栗粉（適量）、玉ねぎ（1個）、ゆでたけのこ（150g）、にんじん（100g）、干しいたけ（6枚）、缶詰のパイナップル（4枚）、ピーマン（2個）、サラダ油（大さじ2）

A【スープ（2/3カップ）、トマトケチャップ（大さじ3）、しょうゆ（大さじ1）、酒（大さじ1）、砂糖（大さじ2）、塩（少々）、片栗粉（大さじ1/2）、酢（大さじ2～3）】

【作り方】

①ニジマスはうろこを取り、頭を落としてからワタを取って筒切りにし、酒としょうゆで下味をつける。

②野菜などの材料を切る。玉ねぎはくし切りに、たけのこは乱切り、人参は乱切りにしてからさっとゆでる。もどした干しいたけはそぎ切り、パイナップルはいちょう切り、ピーマンは角切りにする。

ニジマスの水気を軽くふき、片栗粉を薄く付けて170℃～180℃の油でカラリと揚げる。

サラダ油を熱し、玉ねぎを炒め、周囲が透き通ってきたら、にんじん、たけのこ、しいたけ、ピーマン、パイナップルの順に加えて炒める。

全体に油がまわったら、Aの調味料を加えて混ぜる。

煮立ったらニジマスを加え、ひと煮して酢を加え、水溶き片栗粉でとろみをつけて仕上げる。



『早起きは三文の得。空気がちがうね』

撮影 ● 佐々木幹夫さん（東京都）

【連絡先】 オシドリグループ事務局
森田（電話72-0271）

留鳥よろしく
オシドリのいない日野川はとても静か。無事に海を渡ったでしょうか。春の兆しを感じる頃、少しずつ北帰行した鳥たち。その習性には感心します。朝早くエサ場に行ってみると、それでも10羽ほどいました。この鳥たちは留鳥。来シーズンまで留守番です。今年もヒナ誕生のニュースが聞かれます。自然でたくましく生きる鳥たちに、私たち人間は勇気づけられます。そして悠久の日野川に癒やされます。

オシドリ
にゅるす

VOL. 99



● 広報ひの 5月号 NO. 628

● 発行 日野町役場 〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨101 TEL (0859) 72-0331 FAX72-1484

● 編集 総務企画課 ● 印刷 株式会社高下印刷

● ホームページ <http://www.town.hino.tottori.jp/> ● 電子メール info@town.hino.tottori.jp



広報ひの

20

R100